

## 2025年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立萩原小学校	学校No.	21
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>本校では、『児童の優れた個性を伸ばし「美しい心と 夢と たくましく生きる力」を持つ萩原の子を育てる』を教育目標に、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成をめざしている。福祉教育については、社会福祉への関心と理解を深め、さまざまな体験活動や交流を通して、「福祉の心」を育てることをねらいとした実践活動を行ってきた。</p>			
<p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p>			
<p>(1) 『地域でのボランティア活動』</p> <p>年2回（5/25, 10/19）行われる地域のチンドン祭りで、クリーンボランティア活動を行った。ごみを集めたり、ごみの分別を呼びかけたりして、地域の人と共に生きようとする態度や実践力を養った。</p>			
			 <p style="text-align: center; font-size: small;">分別を呼びかける児童</p>
<p>(2) 『地域行事への参加』</p> <p>萬葉公園「ホタルの会」の方による「ホタルの学習会」を通して、ホタルについて学び、講師の方と共にホタルの幼虫の世話をするなど、地域の人々とよりよい人間関係を築こうとする心を育てた。6月6日には、小学校で観賞会が開かれた。</p>			
			 <p style="text-align: center; font-size: small;">飼育方法を教わる児童</p>
<p>(3) 『お年寄りと交流』</p> <p>11月5日に1年生がお年寄りの方から昔遊びを教えてくださいました。こま、あやとり、けん玉、お手玉、かるた、竹とんぼと一緒に遊びながら楽しい時間を過ごした。お礼にメッセージ入りのお菓子をプレゼントした。思いやりや感謝の心を育てる有意義な活動であった。</p>			
			 <p style="text-align: center; font-size: small;">かるたを教わる児童</p>
<p>(4) 5年生総合学習「ともに生きる」</p> <p>① 福祉について考える</p> <p>ガイダンスとして「福祉」に触れ、自分たちの興味や関心に応じて学習を進めた。児童が調べた概要は以下の通りである。</p>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・手話          ・車いすの介助          ・白杖</li> <li>・点字          ・盲導犬の生活と訓練</li> <li>・点字ブロック      ・補聴器      など</li> </ul>			 <p style="text-align: center; font-size: small;">点字を学習する児童</p>
<p>② 『福祉実践教室』</p> <p>10月24日に行われた福祉実践教室では、「車いす体験」「手話の体験」「点字の体験」を講師の先生をお招きし、体験活動を行った。体験を通して、体の不自由な人にどのように接していけばよいかを学び、その苦労や大変さを実感することができた。</p>			
<p>③ 福祉と共生について考える</p> <p>福祉実践教室での実体験を経て、児童たちはそれぞれのテーマをより追究していくことにした。調べ考えたことをスライドにまとめたり児童相互に意見交換したりして、各児童が「自分にできる福祉」について追究、発表することができた。</p>			
<p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>さまざまな活動や体験を通して、いろいろな立場・状況の人がいることや、誰もが一人ではなく共に生きていることを実感できたと考える。このような活動を体験や知識で終わらせず、社会の一員として、社会のために行動していこうとする態度や意識を今後も継続して高めていきたい。</p>			

## 2025年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	中島小学校	学校No.	22
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>&lt; 目 標 &gt; ・ 集団生活への適応、自然とのふれあい、奉仕や勤労の精神のかん養などを重視して、年間計画を立てる。</p> <p>&lt; 計 画 &gt; ・ 地域の環境や施設を生かし、教室内だけにとどまらず、校内・校外までの学習の場を広げる。  ・ 見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどの直接体験を重視した多様な学習活動を組み立てる。  ・ トンボ園の活用や、高齢者福祉施設「菽の里」での交流活動を通して、生活科、理科、総合的な学習の時間の充実を図る。</p> <p>5月 福祉実践教室（6年）ペア学年玉ねぎ収穫（1～6年）</p> <p>6月 トンボ・ヤゴ教室（3年）畝づくり（PTA）メダカ教室（5年）  ペア学年サツマイモの苗植え（1～6年）</p> <p>7月 野外教育活動（5年）1泊2日 生き物教室（4年）</p> <p>8月 市議会体験（5・6年）</p> <p>10月 修学旅行（6年）木づかい教室（1年）生き物教室（1年）  親和楽荘交流会（3年）親子いもほり体験（PTA）</p> <p>11月 ペア学年いもほり体験（1～6年）昔遊び（1年）</p> <p>12月 バス乗車体験（3年）</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>1年を通していろいろな体験を行ってきました。</p> <p>打合せなど準備や天気などいろいろ大変であるが、地域の方々の協力なくしては行えないものばかりであり感謝の気持ちでいっぱいである。</p> <p>これからも子どもたちの心を育てる活動として計画・実施を行っていき体と考える。しかし、続けて行いうことになる時期もあり授業の方に支障が出てきてしまうことが課題として残るため、計画をしっかり立て、各学年の負担にならないように行っていきたい。</p>			

**※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。**

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

## 2025年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立千秋小学校	学校No.	23
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p><b>【目標】</b>            テーマ「自分にできる社会福祉」            福祉実践教室を通して、「自分にできる社会福祉」について考えさせることにより、福祉についての関心を高めさせる。</p> <p><b>【計画】</b>            ①車いすや手話について調べさせる。            ②障害をもつ人の生活について考えさせる。</p>			
			
<p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>今年度も、5年生が福祉実践教室を行い、車いすや点字の体験を行うことができた。その経験を活かし、「自分にできる社会福祉」について総合的な学習の時間を使って、調べ学習を行った。調べたことを、クロムブックでまとめ、学習発表展で掲示し、学習の成果を全校や保護者に示すことができた。これらの取組により、福祉に対する関心を高めさせることができた。</p>			
			
<p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>「自分にできる福祉」について考える際、福祉実践教室での体験をもとに学習を進めることができた。ホームページや本、新聞など、活字から得る知識よりも、体験に勝るものはない。今後も本校の福祉教育がさらに児童の実態に即したものになるように、計画の修正や改善を進めていきたい。</p>			
			

**※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。**

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

## 2025年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立千秋南小学校	学校N o.	24
<p>1. 福祉教育の取り組み(目標・計画・推進体制)</p> <p>(1)目標 本校は、「心身ともに健康で、確かな学力と豊かな心をもって、未来を拓く千南っ子を育てる。」を教育目標に日々の活動に取り組んでいる。豊かな心をもたせるために、6年生を中心にこのような目標を定めた。</p> <p>(2)計画 ①福祉実践教室 ②人権週間 ③ボランティア活動</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容(活動の記録)</p> <p>①福祉実践教室 福祉実践教室では、車いす体験、手話体験と高齢者疑似体験を行った。障害に関する貴重な話を聞くことができた。さらに、体験活動を通して福祉に対する理解を深め、自分たちにできることを考えるよい機会となった。</p>  <p>②人権週間 11月25日(火)に、毎年恒例の「せんなんのわ」を運動場に作った。「せんなんのわ」は全校児童が学年の壁を越えて、同じ誕生日の友達や誕生日が近い友達を知り、友達の輪を広げることが目的である。全校児童が誕生日順に並ぶことができ、大きな「せんなんのわ」を運動場いっぱいにつくることができた。友達一人一人を大切に、いじめのない明るい学校にしていきたいという思いを強くもつことができた。 12月1日(月)には人権週間の取り組みとして、児童会主催の人権児童集会を行った。児童会役員による紙芝居の読み聞かせでは、一人一人かけがえのない命を大切にしていこうというメッセージを全校児童に伝えることができた。さらに、12月8日(月)には校長から「人権週間」について講話があり、自分にも相手にも人権があり、互いに尊重して生活できるようになってほしいという内容の講話だった。</p>  <p>③ボランティア活動 ・パンジーロード活動 卒業式で6年生を送り出すパンジーロードを作るために、パンジーを植える活動を行った。各学級でそれぞれプランターにパンジーを植え、その後、各学級で朝の水やりや除草を行った。 ・校内奉仕活動 6年生が、6年間お世話になった校舎に、感謝の気持ちを込めて奉仕活動を行った。</p>  <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題 福祉教育にかかわる活動を通して、友達や自分の周りの人を大切にすることについて考えることができた。今後も、困っている人には自然に手を差し伸べ、優しい言葉がけができる温かな人間関係を学校全体にさらに広げていきたい。また、福祉や人権について関心を高め、具体的な実践が広がっていくような場面や機会を学校生活の中に多く取り入れていきたいと考える。</p>			

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

## 2025年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立富士小学校	学校N o.	25
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>（1）目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやりを深める活動を通して、人を思いやる心を育む。</li> <li>・自分たちに何ができるかを考え、実践することで、豊かな心を育む。</li> </ul> <p>（2）計画</p> <p>【1】 人権週間の取り組み（11～12月・・・全学年）</p> <p>【2】 福祉実践教室</p> <p>【3】 あいさつ運動</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>【1】 人権週間の取り組み</p> <p>人権週間に合わせ、思いやり運動を行った。</p> <p>① 人権擁護委員の方々をお招きした人権教室 低学年、高学年の二部制で行い、発達段階に応じたお話や動画の視聴を通して人権に関する意識を高めた。</p> <p>② 人権啓発を目的とした、道徳や学活の授業実践</p> <p>③ 人権に関する標語の作成 全児童が参加して思いやりに関する標語を作成した。校内で選ばれた「ありがとう 感謝の気持ち 伝え合おう。その一言が 魔法の言葉」を印字したクリアファイルを作成。思いやりの言葉を身近なものにできるようにした。</p> <p>【2】 福祉実践教室</p> <p>5年生を対象に、福祉実践教室を行った。本年度は、4種類の体験に分かれて行った。実践教室前には、よりよい体験になるようにSSWさんに授業をしていただいた。</p> <p>【手話体験】 手話をするだけでなく、口の動きや表情の大切さ、相手のことを思いやったり想像したりすることの大切さを学ぶことができた。</p> <p>【点字体験】 目が見えない人の気持ちになって考えてみることを学んだ。点字の難しやさ、生活の大変さを感じることで、この先の福祉についての学びに対する意欲が高まった。</p> <p>【ガイドヘルプ体験】 実際に白杖を持ち、アイマスクをして2人1組で廊下や階段を歩いた。目が見えない方の気持ちについて理解することができた。</p> <p>【車椅子体験】 実際に車椅子に乗って、障害物や段差を越える経験をした。バリアフリーの大切さについて学んだ。</p> <p>【3】 あいさつ運動</p> <p>児童会と生活委員会、ボランティア児童があいさつ運動を行った。昇降口前に列を作って並び、「おはようございます」と声を掛けると、あいさつをされた児童も、いつも以上に元気なあいさつを返すことができていた。</p>			

### 3. 福祉教育の成果と今後の課題

人権週間や、あいさつ運動など全校での声掛けを行うと、子どもたちは素直に反応し、ふわふわ言葉を意識したり、あいさつの声が大きくなったりとよい変容を見せた。しかし、まだ、相手を思いやる心に欠ける行動や発言からトラブルになることもある。日頃の係活動や委員会活動、学級での活動など、学校の教育活動全体の中で、思いやりの心を育てることができるよう、取り組みを継続していく必要がある。

**※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。**

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。